



紙面から

- 催し**
洋画家・小島善太郎氏の
アトリエを公開5
- お知らせ**
日野市民会館の愛称が決定.....6
- 催し**
歳の鬼あし多摩川50+ 参加者募集.....6
- お知らせ**
国勢調査員を募集します.....8
- 特集**
容器包装 断る・返すで ごみ減量.....8
容器包装 お返し大作戦

新議員24人を紹介します

任期満了に伴う日野市議会議員選挙が2月21日に市内29カ所の投票所で行われました。開票は同日午後9時から南平体育館で行われ、新議員24人が決まりました。任期は平成26年3月8日までです。今回の選挙は、2月14日に告示され、24の議席を巡り29人の候補者による選挙戦が繰り広げられました。開票の結果、投票総数6万6千951票、うち有効投票数6万6千272票

の集計結果となり、投票率は前回(平成18年)の48・33%を0・99%下回り47・34%でした。新しく決まった24人の議員は、3月9日(火)(予定)から始まる平成22年第1回定例会市議会に市民の代表として臨みます。

問合せ先 選挙管理委員会事務局

氏名 (数字は年齢) - 敬称略
 得票数
 ①所属
 ②職業
 ③住所
 ※本人届け出による

おばあちゃんが文化を育てた
 日野市長 馬場 弘 社
 よつやく春が来た。孫たちは凍えるような冷たい手なのに、すぐぶるぶる多様な生命が芽生える季節を待ち望んでいたかのように振舞う。高齢者といわれる歳になつて、孫たち若い生命と一緒に過ごしていると、感じることに多。発散するエネルギーの力強さ。新しい物への高い関心。全てを自分中心に見る凄さ。良くも悪くも我儘である。皆様の家でも王様に違いない。

一つの世も若い生命の教育は難しい。パパやママだけでは手に負えない場面が多い。そこにおばあちゃんの出番がある。何故かおじいちゃんはいない。頼りにならない。生物学者の長谷川真理子先生が唱えた「おばあさん仮説」を思い出す。人類繁栄の陰には娘や嫁の子育てを助けたおばあさんの活躍があった、というのだ。

おばあちゃんの包容力。
 おばあちゃんの粘り強さ。
 おばあちゃんの知恵。
 孫はいつも言う。「婆ばなんか大っ嫌い」。でも次の日、おばあちゃんがいなくて強烈にさみしがる孫たち。

僕らはもとより言葉づかいや食事の作法など、若い生命が初めてぶつかるあらゆる事におばあちゃんの何気ない指導が生きている。
 おばあちゃんが文化を育てたと実感するこの頃である。